

霊峰白山 れいほうはくさん



栄谷町（栄谷寺跡）から見える白山



二子塚町（狐山古墳）から見える白山



松山町（新橋）から見える白山



宇谷町（汝美姫）から見える白山



宇谷川と那谷川の交差点より白山を望む、栄谷町の町並みが見える

日本三霊山のひとつとして著名な白山（標高二七〇二m）は、その気高く秀麗な姿から、遥か太古の古より、神の宿る山として信仰されてきました。主峰御前ヶ峰には菊理媛、大汝ヶ峰には大國主命、別山に伊佐那伎命が祀られ、これを白山三峰と称しました。

日本に仏教が伝わると、平安時代前期（西暦八百年頃）には、神と仏は本来同一であるとする本地垂迹説が流行し、御前ヶ峰の十一面観音は、白山登頂に初めて成功したといわれる泰澄大師がその姿を感得し、日本で最初に祀られた所と言われています。白山は、十一面観音の日本における最初の霊場でした。